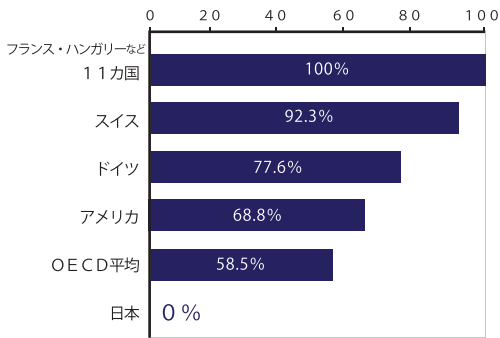


## 4

## 返済不要の奨学金制度を作ろう

奨学金に占める給付制の割合



学ぶ意欲はあるのに経済的理由で進学をあきらめる子どもたちを応援しようとして返済不要の奨学金制度を作っている活動をしています。活動の成果で、就職して所得が低いうちは返済を猶予する制度は出来ましたが、今後も、本人が努力するならば国が応援する「返済不要の給付型奨学金制度」を作ろうと頑張ります。日本の資源は人材ですから。



## 5

## 愛媛県への一括交付金の創設

「地域のことは地域で決める」《地域主権》を進めました。これまで国が使い道を決めていた補助金を一まとめにして、中身の使い道は愛媛県が決められる「一括交付金」というお金にしました。次は松山市に自主財源を送るよう頑張ります。

その他にも、

- 本四高速道路の料金の引き下げ、県の出資金引き下げ
- 小学校へのソーシャルワーカーの配置
- 「放送コンテンツ」を海外展開する際のローカライズの支援
- シベリア抑留者への慰藉と特別給付金の支給
- 「郵政改革」で地域の郵便局ネットワークを守る
- NPOの活動を支える寄付を促進するNPO税制をスタート

など実現しました。

## ながえ流 ～ながえの政治姿勢～

私が大事にしているのは、『小さな声に耳傾ける』ことです。政治の世界に飛び込んでから4年間、一つ一つのお声に向き合うために「地域集会」を欠かさず開いてきました。私の活動の原点です。ある時、福島から避難して来られている皆さんとの対話集会で、一人のお母さんの「愛媛で、子どもの内部被ばく検査が出来ないのか。」という一言に応じて活動し、伊方にあるホールボディカウンターが調整・稼働するようになりました。これも始まりは、小さな声でした。それが、愛媛県民の安全安心を守る体制につながりました。これからも、皆さんのお声をしっかり受けとめ仕事してまいります。

地域集会開催 153回 (2012年10月15日現在)  
街頭演説 通算 1846回 (2012年10月15日現在)  
国会質問 10回

